

大高坂維佐子 学者・文筆家。儒学者大高坂芝山の妻。越後高田藩主からの要請で、女訓書「唐錦」6部13巻を書き上げた。

おおたかさかいさこ

・・・・・・・・・・1660 = 江戸の生れ。父は阿波の人成瀬忠重，母は大和の人。名はいち，また伊佐とも。維佐子は字。

酒井忠清大老1666 = 6歳 :

祖母の理心尼から「源氏物語」や「徒然草」などの和文を学ぶ。
ジャクシャインの乱 1669 = **9歳** :

長じて_小田原藩主稲葉正道の奥向に仕え，

藤十郎登場・1678 = **18歳** :

徳川綱吉將軍1680 = 20歳 : _その娘龜の方が伊予国松山藩主久松定直に興入れする時，従者として松山藩邸に入る。

その後間もなく，土佐の儒学者大高坂芝山と結婚，3男1女を挙げる。

堀田正俊暗殺1684 = 24歳 :

生類憐令始・1687 = **27歳** :

龜の方は早世したが，
・・・・・・・・・・1689 = 29歳 : *越後高田藩主になっていた稲葉正直に請われ，

生類憐令頂点1695 = 35歳 : *女訓書「唐錦」6部13巻を書き上げた。構成は女則5巻，装束抄1巻，姿身1巻，写絵1巻，古教訓1巻，柳桜集4巻からなる。女性の教訓を詳しく書き，装束抄には「婦人のよそほひ」について細々と記している。これらの記述の中に，維瑠子独自の哲学が貫いている。陰陽は「車の輪のごとく」男女は，優劣主従の関係にあるのではないと説き，朱子学の理気二元論によって，万物を対の存在ととらえ，仏教や古典文学の影響のもとに，独自の人生観，宇宙観を展開し，人間としての生き方を教えている。
_続いて「続女則」を著したといわれるが，伝わっていない。

重秀勘定奉行1696 = **36歳** :

・・・・・・・・・・1699 = 39歳 : _没した。